

# 人にやさしい 人がやさしい 幸せな学校

令和5年度 **富士市立岩松北小学校** グランドデザイン

校訓

健康で がんばる子



めざす学校像  
主体的に学び、活動していく学校  
地域と育てる学校

学校教育目標

あたらしい自分をつくっていく ぼく・わたし

- ① … いつでも自分から動く子
- ② … わたしもあなたも大事にする子
- ③ … 学びを楽しみ、表現する子
- ④ … つながりながら成長する子

学校経営目標

「未来を拓く 子どもの育成」(サステナブル経営)

★授業を学校づくりの中核に据え、子どもが温かな集団の中で主体的に学びを深め、楽しむことができる学校をめざす。

- (1) 問いが生まれ、問いに寄り添い、学びの実感を積み重ねる授業を実践し、子どもの主体性、自己肯定感(自己受容感)・自己有用感を育んでいく。
- (2) 子どもが安心してあたらしい自分づくりに挑戦し、自己表現できるような、温かい学校風土、子どもが「つくる」文化を継承する。
- (3) 挑戦し続ける学校、信頼される危機に強い組織づくりをめざす。

重点目標

人にやさしい 人がやさしい

P A

【生活指導部】  
人にやさしい 人がやさしい  
幸せな学校づくり

- ・一人一人を大切にし、よさを認め励ます
- ・多様性(ダイバーシティ)包摂性(インクルージョン)
- ・あったか言葉(共感的人間関係)
- ・自己決定の場の設定、しなやかな心の育成
- ・SC・SSW・巡回相談等との連携
- ・職員の共通理解と協力体制(連携=安心)
- ・心のアンケート、教育相談、保護者連携
- ・「幸せな学校づくり」の追求(Well-Being)

【学習指導部】  
探究する子

～学び手の視点で授業をつくる～

- ・子どもの問いを生む手立ての工夫
- ・探究する姿を育てていく中で、聴く・考える・深める力を育む。(8つの能力・態度)
- ・けやき学習と教科との連動(けやきカレンダー)
- ・「はじめに子どもありき」主体性と必然性
- ・体験活動・実験・観察・豊かな言語環境
- ・GIGAスクール構想、個別最適化と協働的な学習
- ・持続可能な社会の創り手を育む ESD・SDGs
- ・岩松地区3校連携研修

【特別活動指導部】  
自治の輪を広げていく

- ・「人にやさしい学校」の実践の場として
- ・学級活動(話し合い)の充実
- ・児童主体の委員会活動の推進(児童集会)
- ・多様な縦割り活動の推進(児童会活動)
- ・学年集会の実施(各学級輪番で企画・運営)
- ・子どもが創る体育的行事への取組
- ・3つの合い言葉の継承  
あいさつは 心をつなぐ魔法の呪文  
あったか言葉でみんなもほんわか  
だれかじゃなくて自分から



ユネスコスクール

道徳教育

誰にでも温かい心で接し、  
親切にする。



けやき学習(生活科・総合学習)

ESDの実践

(持続可能な開発のための教育)

よりよい未来を創っていくために、  
学び考え行動する子

特別活動

- ・生き生きと活動する  
学級・学年・縦割り集団
- ・自分の役割を自覚し、協力して活動

家庭や地域との連携  
・安心・安全な環境づくり  
・家庭学習のすすめ

子どもと共に学ぶ教師  
・個に目を向け耳を傾ける  
・共に学びを楽しむ

D 学校が楽しい  
友達との活動が楽しい

目標 90%

安心できる学校  
信頼できる先生がいる

目標 90%

授業が分かる  
進んで発表

目標 85%

読書は楽しい  
ICTの活用

目標 90%

C

家庭や地域に信頼される学校づくりの推進  
(「コミュニティ・スクール」の推進)

小中一貫教育の推進(岩松中・岩松小・岩松北小)  
・子ども像の共有 ・三校合同研修会 ・幼小中交流会